

徳島県地域医療再生計画の概要

医師不足対策や救急・災害医療体制の強化等、本県の地域医療を取り巻く様々な課題の解決に向け、国の地域医療再生臨時特例交付金を活用し、第1次から第3次にわたって、総額107億円の「徳島県地域医療再生計画」を策定。

第1次計画(H22. 1策定)

- ◆対象地域：二次医療圏(東部Ⅰ医療圏・西部Ⅱ医療圏)
- ◆計画期間：平成21年度～平成25年度(平成27年度)
- ◆計画規模：50億円(25億円×2圏域) ※うち執行済額 4,779百万円(H25末見込み)
- ◆計画概要：**【東部Ⅰ医療圏】**
総合メディカルゾーン構想を核とした地域医療再生・創造拠点機能を整備し、「救急医療体制の万全化」、「高度先端医療の拠点形成」、「へき地医療支援機能の強化」などに取り組み、「南部Ⅱ医療圏」には総合メディカルゾーンのサテライト機能を整備する。
- 【西部Ⅱ医療圏】**
公立3病院の連携・協力を更に進め、救急医療を中心とした「地域完結型の医療提供体制」を整備する。

第2次計画(H23. 12策定)

- ◆対象地域：三次医療圏(県下全域)
- ◆計画期間：平成23年度～平成25年度(平成27年度)
- ◆計画規模：約47億円 ※うち執行済額 3,123百万円(H25末見込み)
- ◆計画概要：県立中央病院と徳島大学病院からなる「総合メディカルゾーン本部」を核として、南部センター(県立海部病院)及び西部センター(県立三好病院)の機能強化や連携強化を行い、「県下全域の医療の最適化」を図る。

第3次計画(H25. 8策定)

- ◆対象地域：三次医療圏(県下全域)
- ◆計画期間：平成25年度(平成27年度)
- ◆計画規模：約10億円 ※うち執行済額 105百万円(H25末見込み)
- ◆計画概要：最重点項目として、地域を支える医師不足の抜本的解消、質の高い在宅医療の提供体制の構築、また、南海トラフ巨大地震をはじめとする災害時における医療の確保など喫緊の課題解決に向けた施策を展開し、第1次・2次計画との相乗効果を図る。